

広 告

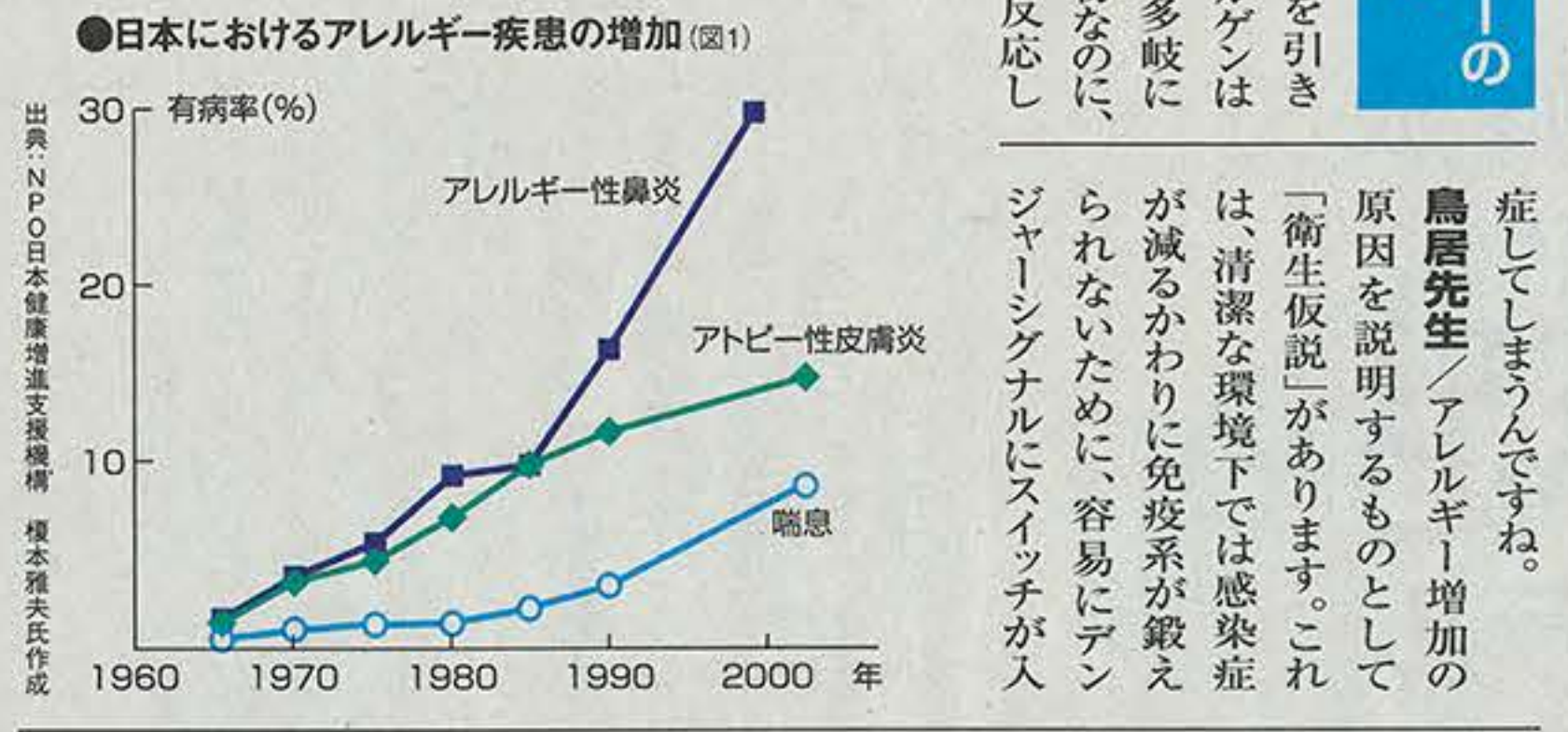


医学博士 鳥居新平 先生

名古屋大学名誉教授・アレルギー科小児科クリニック院長 専門は臨床免疫学、アレルギー学、小児科学、日本小児アレルギー学会会長、日本アレルギー学会会長、厚生労働省特定用途食品検討部会委員などを歴任。日本を代表するアレルギーの専門家。著書に「小児ぜん息・アレルギー疾患治療法HANDBOOK」(医歯薬出版)、「子どもの食とアレルギーQ&A」(共著・第一出版)など。

昨今のアレルギーの原因とその傾向

池澤先生「アレルギーを引き起こす物質であるアレルゲンは食べ物や化学物質など多岐にわたり、本来は無害な物なのにカラダの免疫系が過剰反応しアレルギーが発症してしまっている。衛生仮説が説明するものとして、清潔な環境下では感染症が減るかわりに免疫系が鍛えられないために、容易にアレルギーの免疫系が過剰反応しアレルギーが発症してしまっている。衛生仮説が説明するものとして、清潔な環境下では感染症が減るかわりに免疫系が鍛えられないために、容易にアレルギーの免疫系が過剰反応しアレルギーが発症してしまっている。

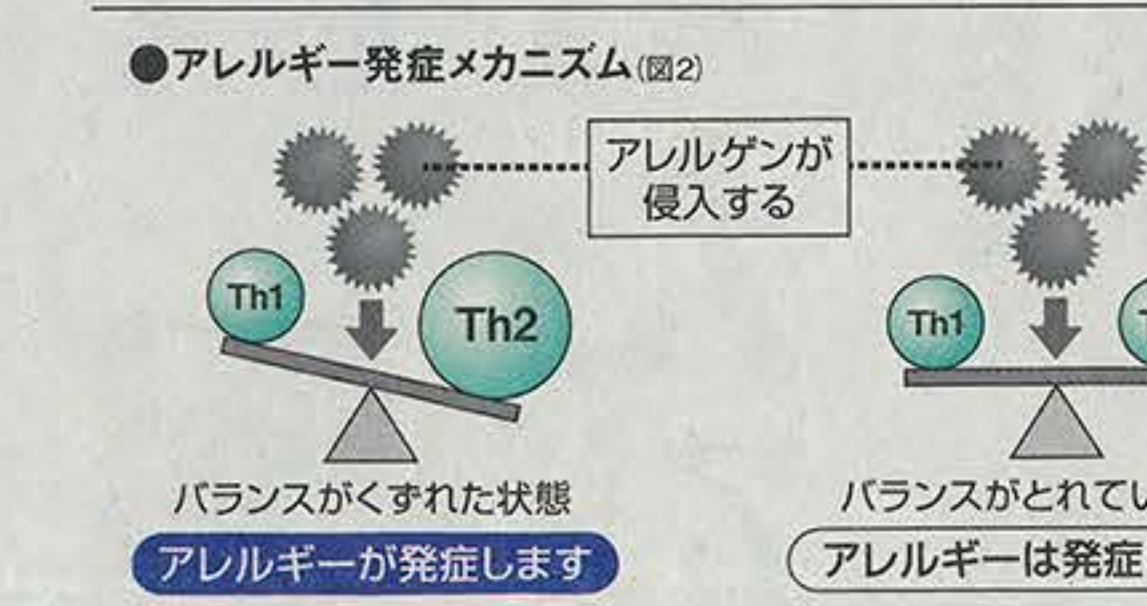


環境や生活習慣がもたらす皮膚バリアー障害

鳥居先生「アレルギーには環境や生活習慣が深く関わっています。アレルギーには環境や生活習慣が深く関わっています。アレルギーには環境や生活習慣が深く関わっています。

免疫バランスの崩れからアレルギーは発症する

鳥居先生「そもそもアレルギーは免疫バランスの崩れから発症する。免疫バランスの崩れから発症する。免疫バランスの崩れから発症する。



池澤先生「アレルギーは免疫バランスの崩れから発症する。免疫バランスの崩れから発症する。免疫バランスの崩れから発症する。

多くの専門家が「L-92乳酸菌」を注目する

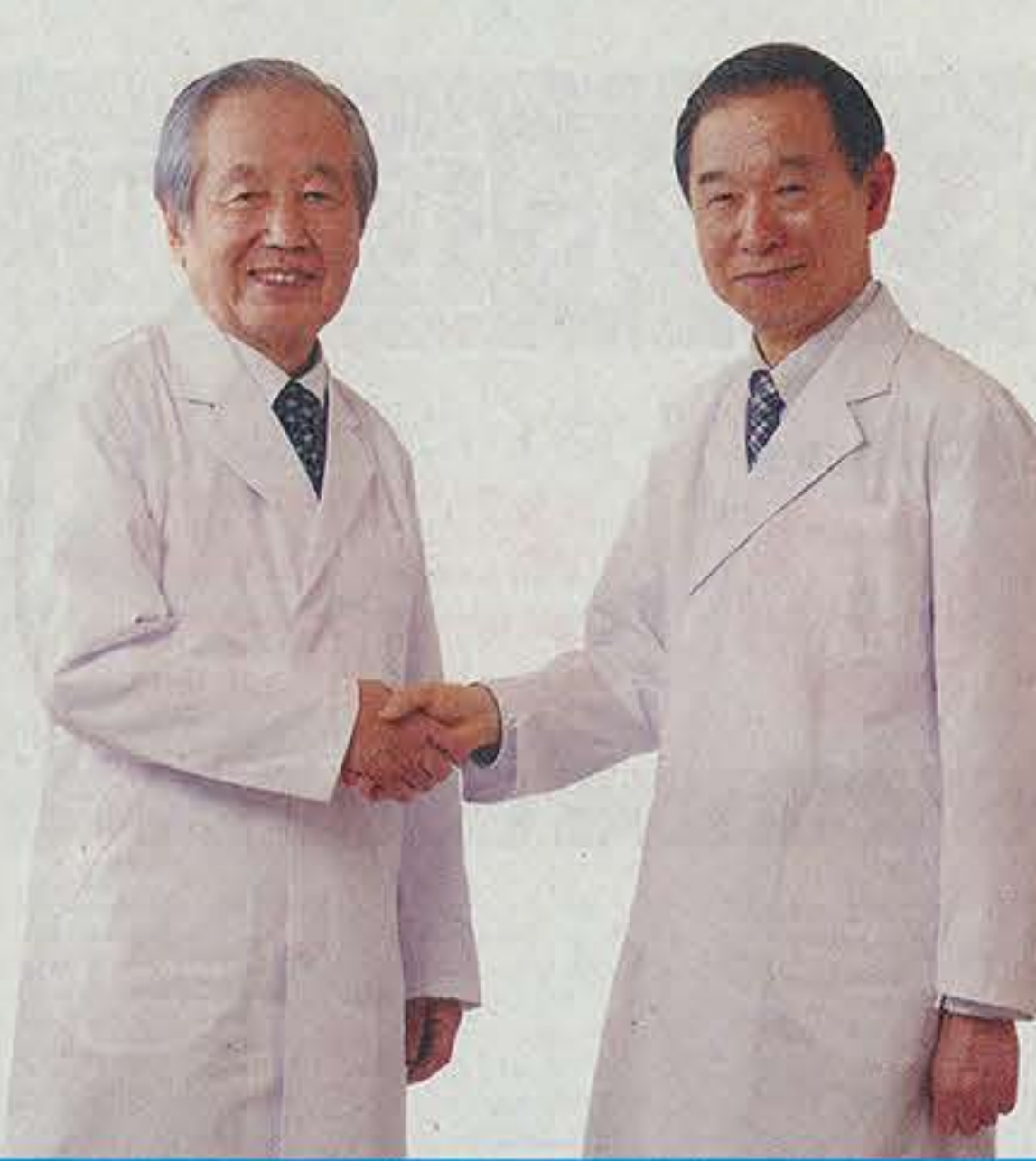
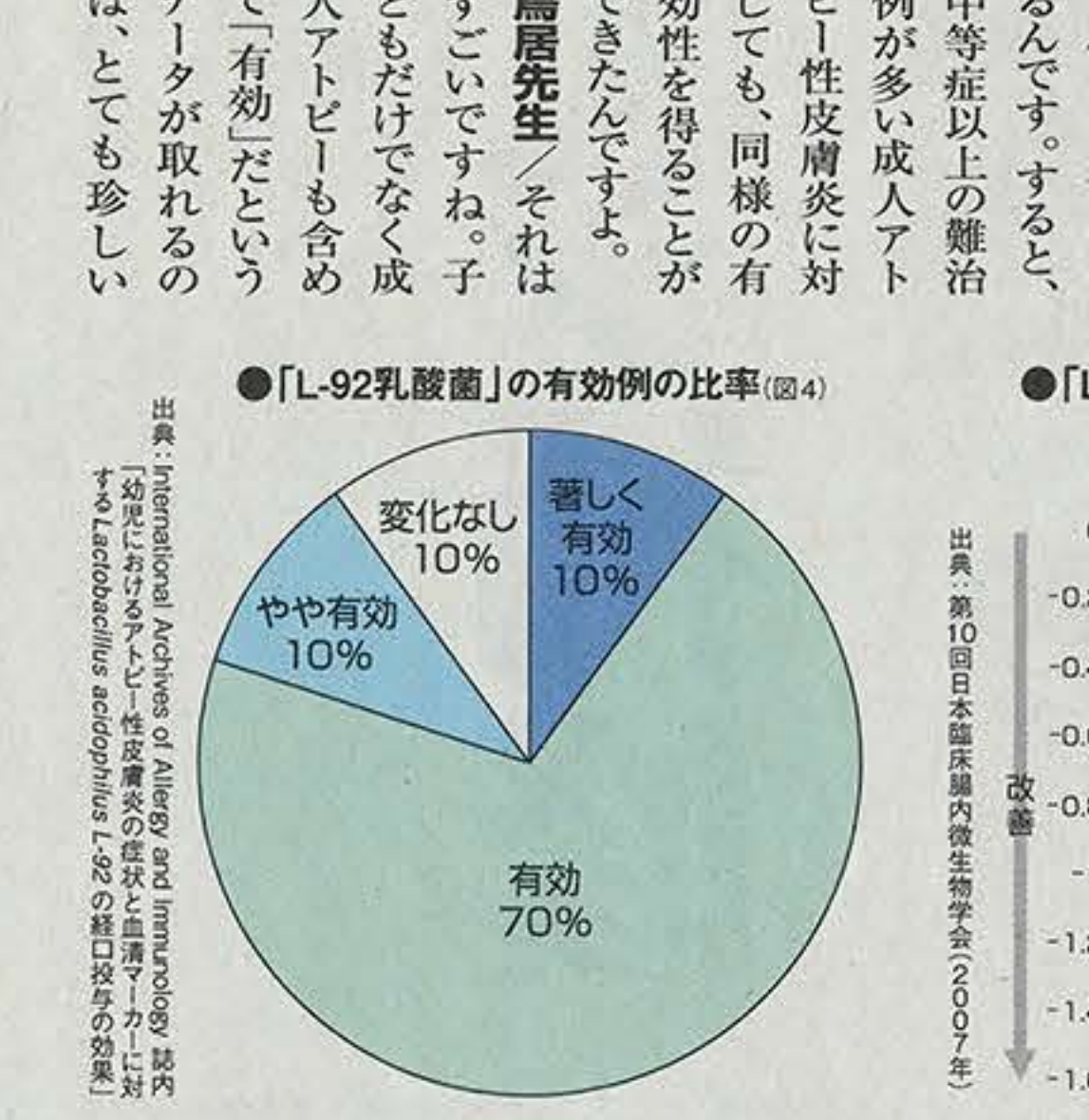
鳥居先生「L-92乳酸菌は、新たなアレルギー対策として私たちが注目している。L-92乳酸菌は、新たなアレルギー対策として私たちが注目している。

幼少期に加え成人アトピーにも有効性を確認

池澤先生「鳥居先生は、小児のアトピー性皮膚炎患者を対象とした「L-92乳酸菌」の有効性を日本臨床腸内微生物学会で発表しています。鳥居先生「鳥居先生は、小児のアトピー性皮膚炎患者を対象とした「L-92乳酸菌」の有効性を日本臨床腸内微生物学会で発表しています。

「L-92乳酸菌」最新情報！成人アトピー性皮膚炎への有効性も学会で発表

4歳から15歳までの患者を対象に、日本臨床腸内微生物学会にて発表した左にある図3、図4の症状改善データに続き、2012年11月30日の第62回日本アレルギー学会秋季学術大会では、さらに最新の研究成果が発表された。その内容は、成人アトピー性皮膚炎に対する「L-92乳酸菌」の有効性が認められたというもの。アレルギーに悩む多くの方々にとって、まさに朗報と言える研究成果だ。



アレルギーの新しい予防法や対策を発信するアレルギーケアフォーラム

正式名称は「環境・生活習慣型アレルギーケアフォーラム」。全国のアレルギー研究やアレルギー治療で名高い専門家が発起人となり、2007年11月に設立された第三者機関である。アレルギーを全身の病気にして環境・生活習慣病と捉えて、世の中に役立つ情報を発信している。

刺激に敏感。デリケートな現代人のカラダ...

「アトピー性皮膚炎や「通年性鼻炎」「花粉症」や喘息をはじめとするアレルギー疾患は、世界的に増加の一途をたどっている。日本でも4000万人以上、国民の約3割が何らかのアレルギーを持っているという。季節や環境、日々のストレスなど発症の要因はさまざま。これらの要因に敏感に反応する現代人のカラダに、有効な成分があるという。日本アレルギー学会などで活躍されているアレルギーの名医お二人に、最新の研究成果と注目のアレルギー対策についてお話をうかがった。



医学博士 池澤善郎 先生

横浜市立大学名誉教授・国際医療福祉大学教授(同大学熱海病院上席副院長、医務部長) 専門はアトピー性皮膚炎、蕁麻疹、薬疹、接触皮膚炎など。日本接触皮膚炎学会会長、日本職業環境アレルギー学会会長、日本皮膚アレルギー学会会長、日本皮膚科学会東京支部学術大会会長、日本アレルギー学会会長、東京都アレルギー疾患対策検討委員会委員などを歴任。著書に「アトピー性皮膚炎 ここまで分かった!」(ここまで治る!)、「北陸館」(薬師のすべて)、「南江堂」など。

アレルギー対策はまず生活習慣から

池澤先生「私は、アレルギー症状の改善のためには、従来の西洋医学的なアプローチに加え、生活習慣を見直しカラダ全体のバランスを整えることをおすすめしています。臨床医としての経験からも、その方が症状の緩和や治癒に結びつきやすいように思います。鳥居先生「そうですね。私も普段の生活からアレルギーケアを心がけていくことが大切だと感じています。強い界面活性剤の入っているシャンプーや洗剤は避け、昔風の石けんを使うてみたり、綿やシルクといった自然素材の衣服を着るなどの対策も良いと思います。特に幼少期はアトピー要因がなくても、皮膚のバリアー機能が弱い時期です。環境・生活習慣の両面でQOL(クオリティオブライフ)生活の質)を高め、意識的に皮膚をケアしてあげることが大切です。

最近では「L-92乳酸菌」を含んだ市販食品も

乳酸菌にはさまざまな種類が存在し、通常はヨーグルトなどの発酵食品から摂ることができます。「L-92乳酸菌」は、そうした食品からは摂れない特別な乳酸菌でしたが、最近では「L-92乳酸菌」を含んだものもつくられています。カラダの中から健康のバランスを取り戻す食品として、「L-92乳酸菌」は多くの期待を集めています。

アレルギーケア 最新NEWS 2013

アレルギーの名医2人が語る

話題のアトピー対策

L-92乳酸菌

抗アレルギー作用の解明が進むL-92乳酸菌「ラクトバチルス・アシドフィルス-L92株」の電子顕微鏡写真